

# 人生百年 幸せと健康を祈る



長寿を祝う会  
令和二年九月二四日



長寿を祝う会は、平成三年の足羽利生苑開設当時から続いている恒例行事です。29回目の今年は、昭和7年（満年齢）昭和8年（数え歳）に生まれた方々が米寿を迎えられ、4名の方のお祝いを行うことができました。



例年の「長寿を祝う会」は、ご家族を迎えて賑やかに行われていました。しかし、今年は、春先から猛威を振るっている新型コロナウイルスのため、1か所に集まることは避け、式典などの様子は、各ユニットをWebでつなぎテレビ中継での開催となりました。式典では、本人とのエピソードを交えたお祝いの言葉が寄せられ、お祝いの色紙と華やかなお花が贈られました。



式典後には、施設内の各お部屋に獅子舞いが巡りました。獅子舞いを見て、びっくりされる方やご自身から頭を獅子舞いの口の中に入れる方など、日頃と違う特別な日を、皆さん思い思いに楽しまれました。



### 聞かせて 長寿の秘訣

足羽利生苑のデイサービスでは「長寿の心得」として「米寿」のことを次のように表現しています。

“八十八歳でお迎えきた時は、もう少しお米を食べてから言え”

この詩が納得できるようなお話と、生きて行くために大切なことをお聞きすることができました。

人間は、  
朝、昼、晩の挨拶が  
大事やと思います。



正直 88歳まで生きられると思ってなかったの。これまでに大きい病気をしたことがあるから命があると思わなかったわ。家でもここでも良くして下さい。だから今は幸せや。長生きの秘訣は友達といること、何でもよく食べることやよ。



チームワークで獅子舞を楽しみました。

私の家は、長生きの家系なんやよ。  
子供の頃の思い出は、当時 102歳のおばあちゃんにご飯を持って行ったことかな。  
高い所に上られるからそれが嬉しかったの。  
それから、私は7人兄弟の末っ子で、姉と生まれた日が同じなの。  
でも、兄4人は戦争に行ってしまったけどね。  
長生きしたからこんな話ができたわ。  
長生きの秘訣は、笑うこと 好き嫌いないことです。



ご家族より  
温かい言葉が  
寄せられました。

88歳までようガンバったね。これからも、1日1日を笑ってすごしていきたいと思います。

穏やかに過ごせている今が一番幸せですね。この日常が1日でも長く続くことを願っています。



長寿のお祝いを盛り上げていただいた獅子舞いは、福井市勝見の吉野隆春さんにお借りした物です。また、この獅子舞いは手作りされていてぬくもりを感じることができました。ありがとうございます。

### まとめ

今年の長寿のお祝いは、コロナウイルス感染対応で職員による獅子舞いでお祝いをさせていただきました。

当日までは、利用者の方に喜んでいただけると不安はありましたが、職員が獅子になり利用者の方一人ひとりのそばに行くことにつながりが持てたように思います。それから「獅子舞い」は、お年寄りにとって馴染み深い物で、獅子に頭を噛んでもらおうと獅子の周りに集まって来られました。

頭を噛んでもらうと涙を流して喜ばれている姿を見ることができ、とても良かったと思います。

行事・ボランティア委員会

村田 和枝